

会 議 録

会議の名称	第2回 広域ごみ処理施設整備・運営事業提案審査委員会
開催日時	平成22年8月23日（月） 14:00～16:00
開催場所	芳賀地区広域行政センター 2階 会議室
公開の可否	非公開
出席委員	栗原 英隆 （委員長） 安田 憲二 （委員） 瀧澤 雄三 （委員） 内田 龍雄 （副委員長） 法師人 弘 （委員）
会議の議題	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 事 1) 前回議事録の確認 2) 事業者募集資料について ①落札者決定基準（案） (ア) 技術提案に関する得点化方法・総合評価値の算定方法 (イ) 入札価格に関する得点化方法及び技術評価点と価格評価点の割合 (ウ) 定量化審査における審査の視点 ②様式集（案） 3) その他 4 閉 会
配布資料	【資料1】第1回委員会議事要旨 【資料2】広域ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準（案） 【資料3】落札者決定基準に係る検討について 【資料4】シミュレーション 【資料5】広域ごみ処理施設整備・運営事業 様式集（案） 【資料6】審査委員会の審議内容及びスケジュール

1 開会

2 委員長あいさつ

委員長が挨拶を行った。

3 議事

1) 前回議事録の確認

事務局より第1回審査委員会の議事録の内容について確認を行い、内容が了承された。

2) 事業者募集資料について

① 落札者決定基準(案)

(ア) 技術提案に関する得点化方法・総合評価値の算定方法

事務局より「【資料2】広域ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準(案)」、「【資料3】落札者決定基準に係る検討について」により、技術提案に関する得点化方法・総合評価値の算定方法について説明を行った。

委員長：技術提案に関する得点化方法について、事務局より判定方式(5段階)、一位満点方式、総合評価値の算定方法については、加算方式という提案がありました。まず、判定方式(5段階)についてはいかがでしょうか。

委員長：評価の基本はどこを考えていますか。

事務局：発注仕様どおりを「E評価」としていますので、これを基本と考えています。

委員長：E評価以下となる場合は、発注仕様を満たしていないということで失格ということですね。評価の基本をどこにするかについては、いつ決めるのですか。

事務局：今回の委員会で決定していただければと思います。

A委員：基本的には、優れた提案に対して加点していくものであり、減点方式ではないということですか。

委員長：他事例では、「D評価」を基本として、加算部分は4段階評価とし、発注仕様は満たしているが劣る評価「E」を設定している場合もあります。多くの項目でそのような評価がつくということではなく、極めて限定的な項目にそのような評価がつく場合があるということなのですが。

A委員：限定的なのであれば、今回は考慮しなくても良いのではないのでしょうか。

B委員：方式も限定されていることから、今回は問題ないのではないのでしょうか。

A委員：私も今回は方式が限定されていることから、それ程極端な評価がつくことも無いのではないかと考えます。

委員長：今回は、一位満点方式が併せて提案されているので問題となりませんが、判定方式(5段階)を加点方式で評価した場合には、技術点が低く抑えられるという事例もあります。

C委員：委員長が言われたとおり、一位満点方式ということも後にありますので、今回はEを評価の基準として判定方式で行うことでよいと思います。

D委員：私も事務局から提案のあった方式でよいと思います。

委員長：皆さんからも事務局提案のとおり、判定方式（5段階）で良いとのご意見がありましたので、今回は判定方式（5段階）を採用することとします。

委員長：次に一位満点方式についてはいかがでしょうか。事例からは2件程度しかないようですが。

A委員：今回の事務局からの提案では、判定方式（5段階）との組み合わせで、意味のある方式として提案がありましたので、問題ないのではないかと思います。

C委員：各方式で長所短所ありますが、全体から見れば良いのではないかと思います。

B委員：私も問題ないと思います。

D委員：私も良いと思います。

委員長：皆さんから良いというご意見がありましたので、一位満点方式についても採用とします。

委員長：続いて、総合評価値の算定方法の加算方式についてはいかがでしょうか。

A委員：除算方式では低コスト低内容も高コスト高内容となってしまうのは問題と考えます。

委員長：皆様からも特に異論等ないようですので、総合評価値の算定方法も事務局の提案のとおり、加算方式で決定したいと思います。

(イ) 入札価格に関する得点化方法及び技術評価点と価格評価点の割合

事務局より「【資料2】広域ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準(案)」、「【資料3】落札者決定基準に係る検討について」、「【資料4】シミュレーション」により、入札価格に関する得点化方法及び技術評価点と価格評価点の割合について説明を行った。

委員長：ここで決定しなければならないのは、入札価格の得点化式をどうするか、また、技術点と価格点の割合をどうするかということです。事務局からは、得点化式は最低価格に対する入札価格の割合により得点を決定する式（「1式」という。）、技術点と価格点の割合については60：40という提案がありました。

C委員：60：40と1式というのは、他事例から見てもバランスが取れていて良いのではないかと思います。

A委員：私も60：40というのは妥当なのではないかと思います。

B委員：私も妥当であると思います。

D委員：いずれも採用事例が多いというのは有効であると思います。

委員長：皆さんから色々意見を頂きましたが、事務局から提案のあった入札価格の得点化式は1式、比率は60：40ということによろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

委員長：皆さんから賛成のご意見を頂きましたので、1式、比率は60：40に決定します。

(ウ) 定量化審査における審査の視点

事務局より「【資料2】広域ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準（案）」により、定量化審査における審査の視点について説明を行った。

委員長：それでは説明のありました審査の視点について、ご意見があればお願いします。

委員長：その他の管理業務のところに点数が抜けているが、これは下に記述されている2点ということでしょうか。

事務局：2点が入ります。

A委員：いまあった「その他の関連業務」とは、どういうものがあるのでしょうか。

事務局：清掃、住民対応や見学者対応などが含まれています。

B委員：項目は大体この程度かなというように思います。審査においては書いてあるから良いのか、書いてないからダメなのかなど書きぶりが影響しますね。

委員長：この内容と後の議題にある様式集がリンクしているのです。

事務局：具体的な審査の方法でいうと、発注仕様書を満たしているかどうかは、基礎審査として事務局にて確認を行います。そのため、審査委員会では、提案内容が落札者決定基準に対してどうかということをご審議いただくことが中心になるかと思えます。

C委員：事務局からは、提案書が提出された段階で各社の提案を横並びにした比較表を作成していただけるということでしたので、我々としては見比べて評価できるので比較的やりやすいのではないのでしょうか。

委員長：他事例を見ていると提案の良し悪しが会社の技術力ということより、実際に提案書を作成する担当者の能力に影響を受けやすいというのが見受けられます。

C委員：各社に同じ条件で提案書を作成するよう求めている結果ですので、それは仕方ないものと思います。

A委員：一種のプレゼンテーションですから仕方ないですね。

委員長：ヒアリングが別途設けられていますので、その中でも確認していくことになります。

B委員：そういう意味では、不明点についてはヒアリング結果を受けて、微調整もできるのですよね。

委員長：それでは、色々ご議論いただきましたが、今回の基準の内容として資料の内容でいきたいと思えますので宜しくお願い致します。

全委員：了解。

② 様式集（案）

事務局より「【資料5】広域ごみ処理施設整備・運営事業 様式集（案）」について説明を行った。

委員長：事務局より様式集（案）作成の考え方について説明をしてもらいました。これについては、今回確認し、次回の審査委員会で決定ということですが、何かご意見等ありませんでしょうか。

C委員：「その他の提案」という項目を各項目で設定していますが、これは評価が難しいのではないのでしょうか。

事務局：落札者決定基準の審査の視点で示された内容は別途項目を設けており、それ以外に追加で提案がある場合に記述していただくことで設けたものです。内容によりませんが、その部分については加点要素と考えていただければいかがかと思います。

B委員：他事例では資源物の計量結果にバラツキがあり、実際と乖離しているということが多く見受けられましたが、その辺については、記述されていますか。

委員長：現状はどうなっているのですか。

事務局：住民の直接搬入車は2回計量を行っており、委託の車は重量が登録されているので1回計量です。ちなみに、混載の場合には、ごみ種別ごとに荷を降ろすたびに計量しています。

委員長：発注仕様書には、そのあたりの内容は記述していますか。

事務局：発注仕様書では、混載車がある旨を伝えた上で、極力計量回数が増えないように計画するよう求めています。

委員長：多重計量とならないよう計画するのは難しいですね。

事務局：実際には、リサイクル施設の方に秤を設置するなどしなと対応は難しいと考えています。

3) その他

委員長：資料6のスケジュールでは、今回入札説明書も議論することになっていたようですが、これはどうしますか。

事務局：第3回審査委員会でご確認いただくよう変更します。

委員長：事務局からその他連絡事項等ありますか。

事務局：次回の第3回審査委員会の日程についてですが、これについては事務局で調整し、改めてご連絡いたします。

委員長：以上で第2回審査委員会の全ての議事を終了しましたので、事務局にお返しします。

4 閉会

以 上